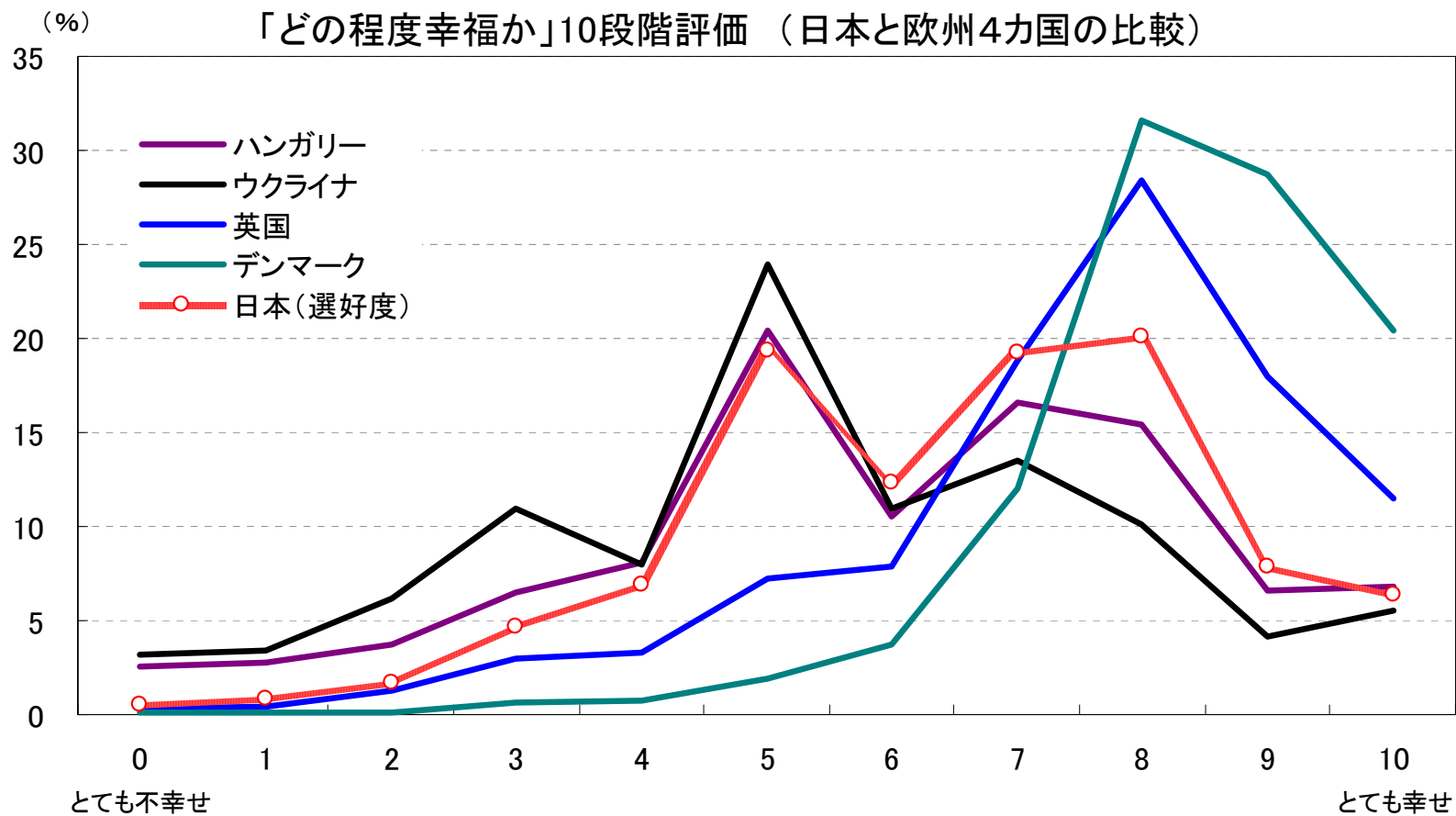


# 国民生活選好度調査結果の概要 (参考図表)

平成22年4月

内閣府経済社会システム

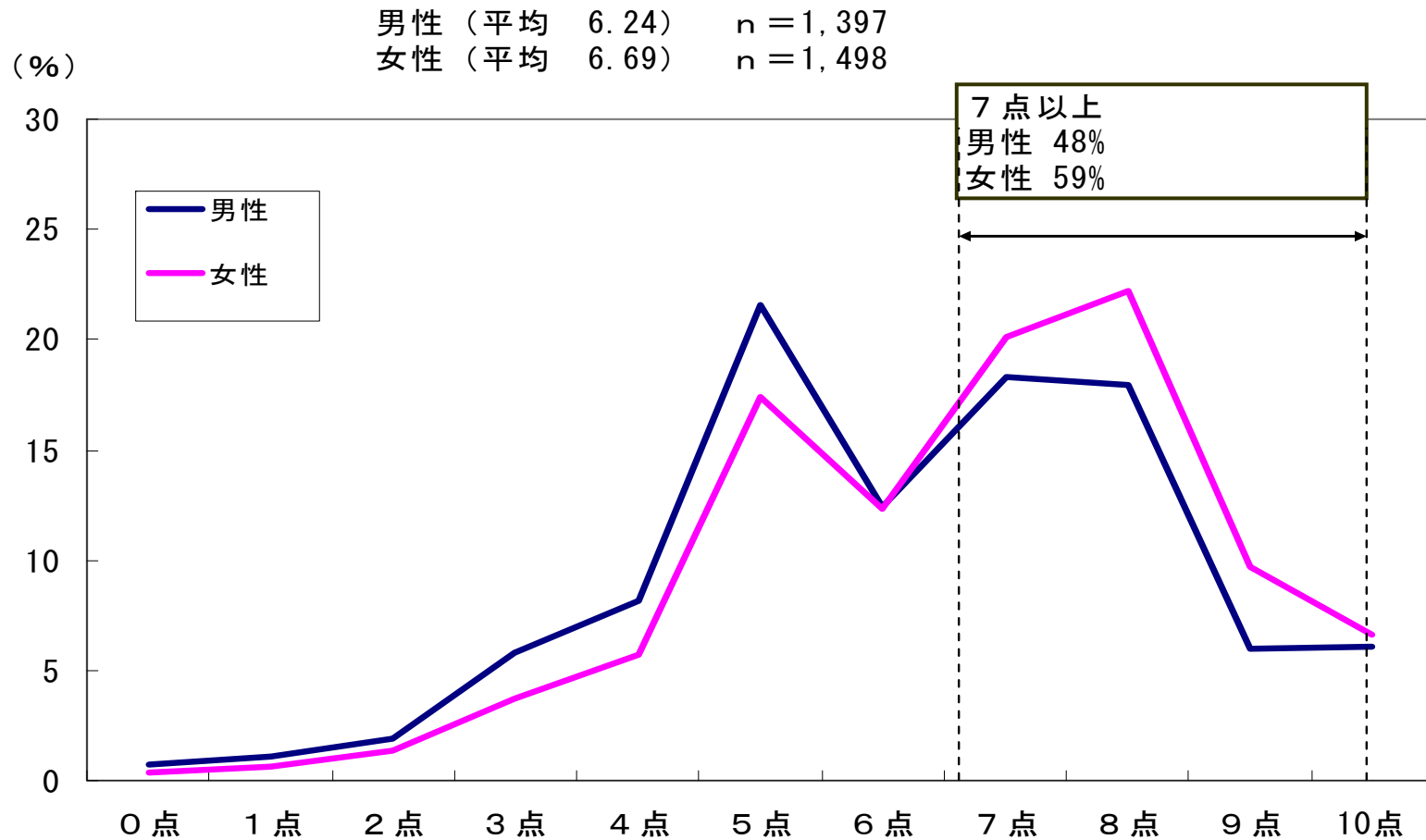
(図表1) 「どの程度幸福か」の国際比較



(出所) 日本は国民生活選好度調査。欧州4カ国は2008年欧州社会調査より作成。

(図表2) 「どの程度幸福か」 (男女別)

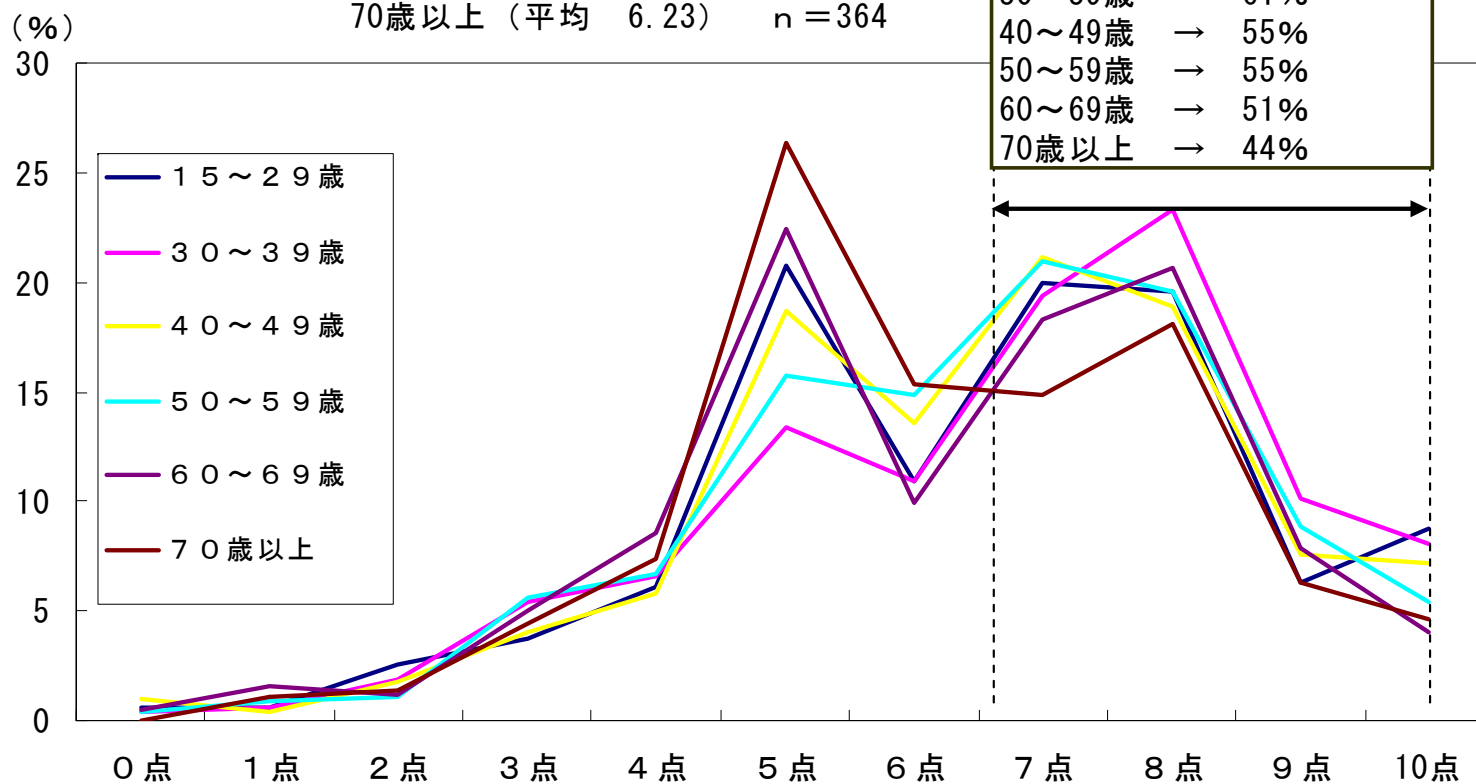
問 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。



(図表3) 「どの程度幸福か」(年齢別)

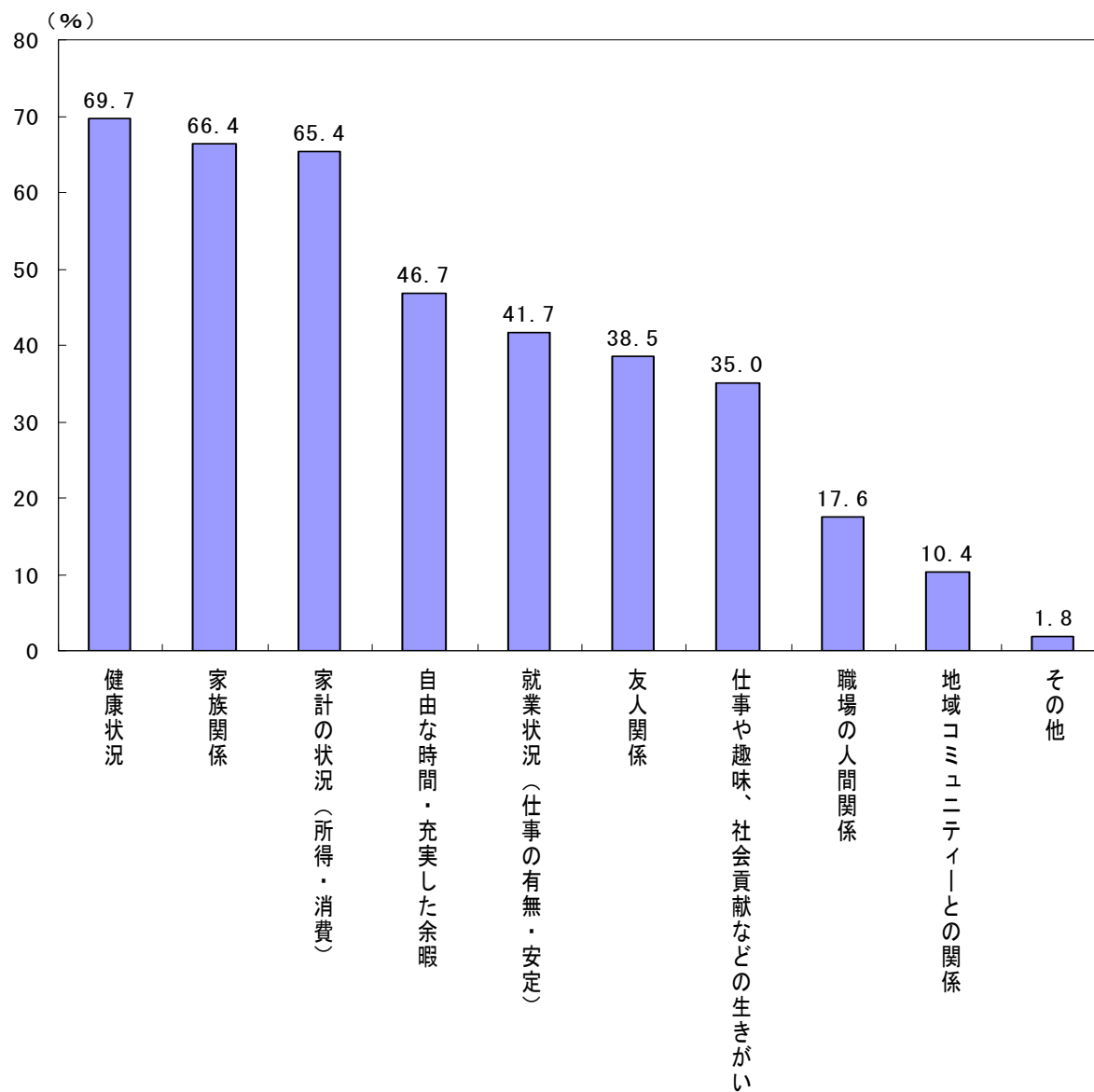
問 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

15～29歳	(平均 6.52)	n = 505
30～39歳	(平均 6.73)	n = 485
40～49歳	(平均 6.53)	n = 502
50～59歳	(平均 6.51)	n = 464
60～69歳	(平均 6.29)	n = 575
70歳以上	(平均 6.23)	n = 364



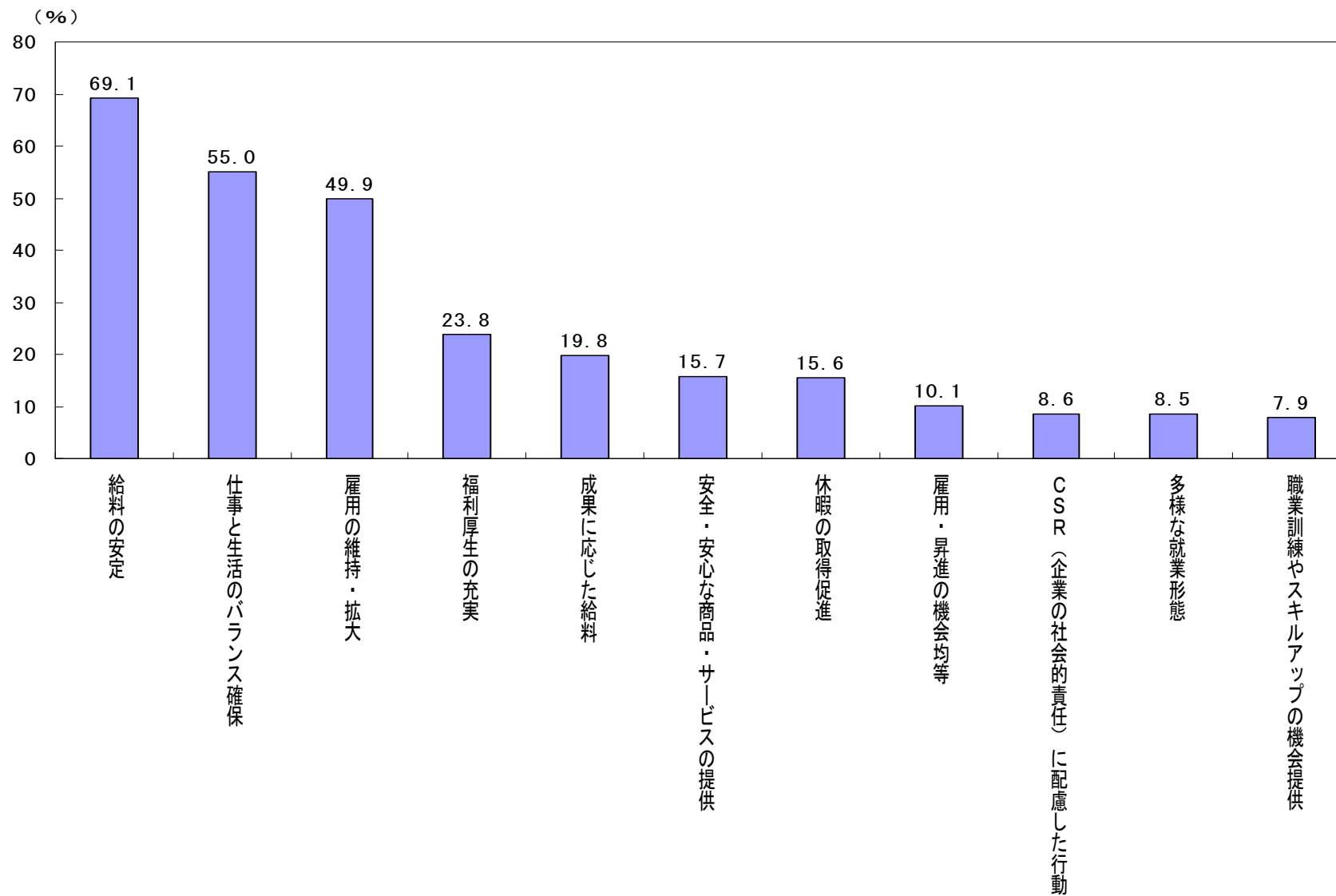
## (図表4) 幸福感に影響する要素

問 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。



## (図表5) 企業への期待

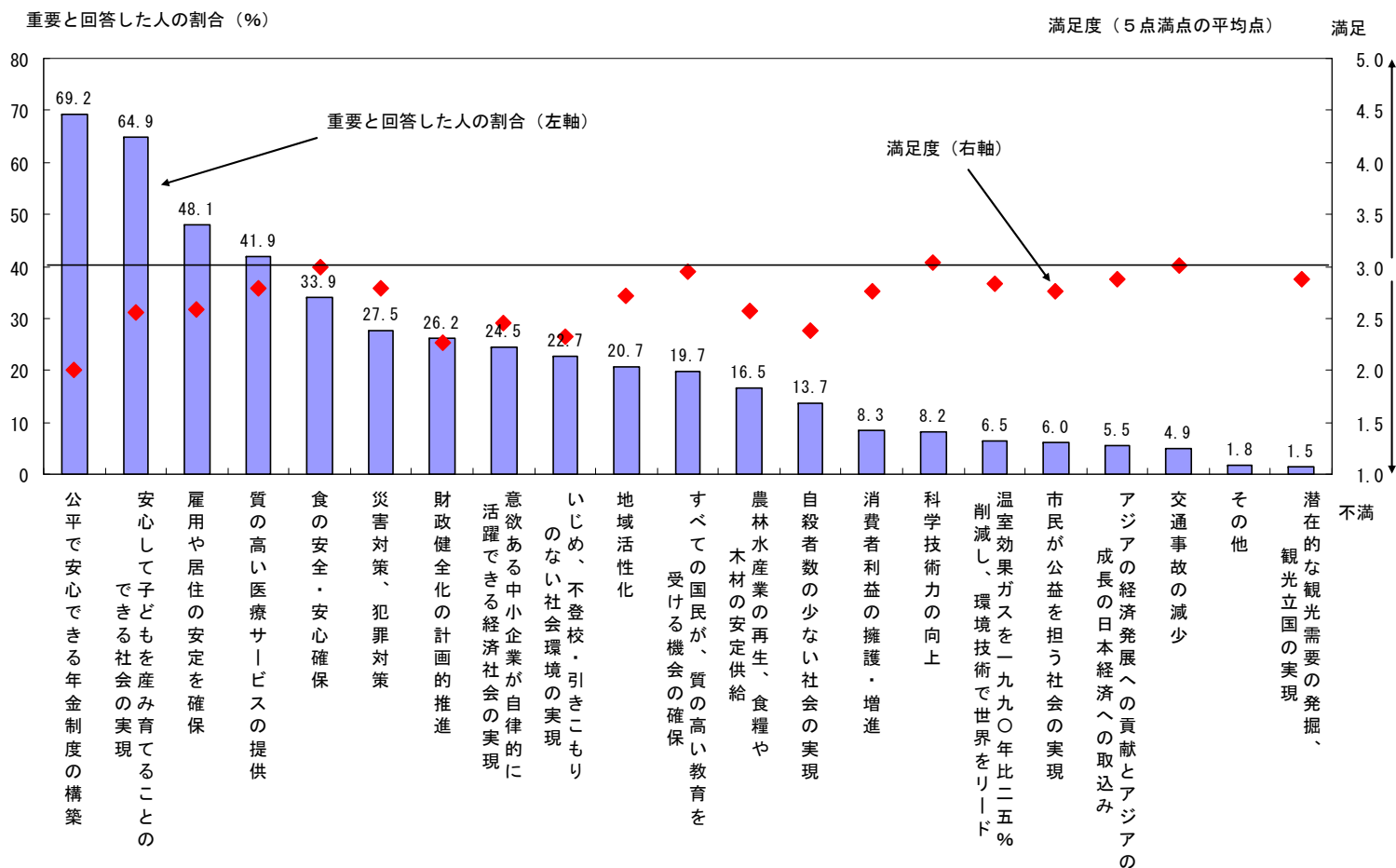
問 企業や事業者による次のような行動のうち、その職場で働く人々や社会全体の幸福感を高めると思うものは何ですか。最も重要と思うものに3つまで○を付けてください。



## (図表6) 政府への期待と満足度

問 国民全体、社会全体の幸福感を高める観点から、政府が目指すべき主な目標は何だと思えますか。最も重要と思うものに5つまで○を付けてください。

問 次のそれぞれの政策目標について、現状、あなたはどの程度満足していますか。



(注1) 満足度は、「満足している」5点、「まあ満足している」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえば不満である」2点、「不満である」1点とし、その平均点を利用した。

(注2) 「その他」については満足度の質問項目がなく、満足度のデータはない。

## (図表7) ボランティア等への参加・利用・寄附

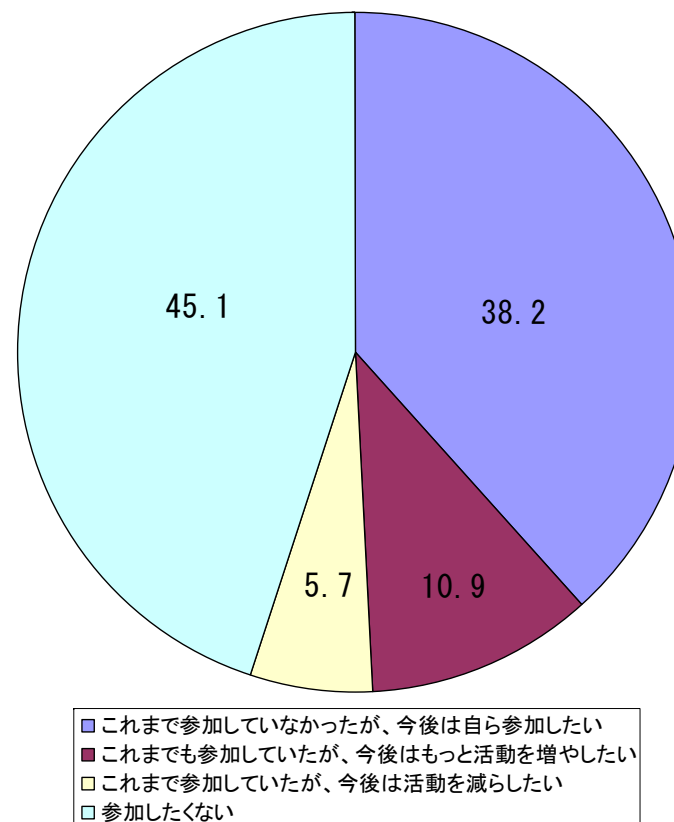
問 現在、あなたは、次のようなボランティアやNPO活動、市民活動に参加したり、利用していますか。  
 (ここでは、必ずしも無償に限らず、実費や謝礼をもらう等、有償のものも含めてお考えください。)

問 上記のような、社会的なサービスを提供する活動に、あなたはどのように参加したいですか。自ら参加する、寄附をする、サービスを利用するというそれぞれの参加の仕方について、今後の意向として最も近いもの1つに○を付けてください。

(ア) 参加している(%)

(n=2,900)		(%)
参加している	参加していない(無回答を含む)	
26.0	74.0	

(自ら参加することについて) (n=2,822)



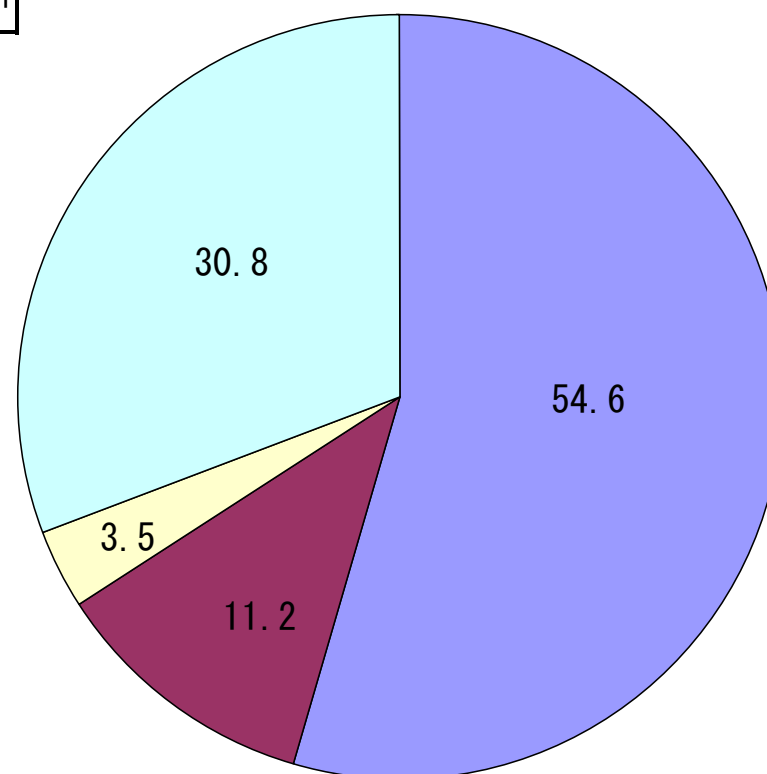
(イ)利用している(%)

(n=2,900)

(%)

利用している	利用していない(無回答を含む)
10.9	89.1

(サービスを利用することについて) (n=2,811)



- これまで利用したことはないが、今後は利用したい
- これまでも利用したことがあるが、今後はもっと利用を増やしたい
- これまでも利用したことがあるが、今後は利用を減らしたい
- 利用したくない

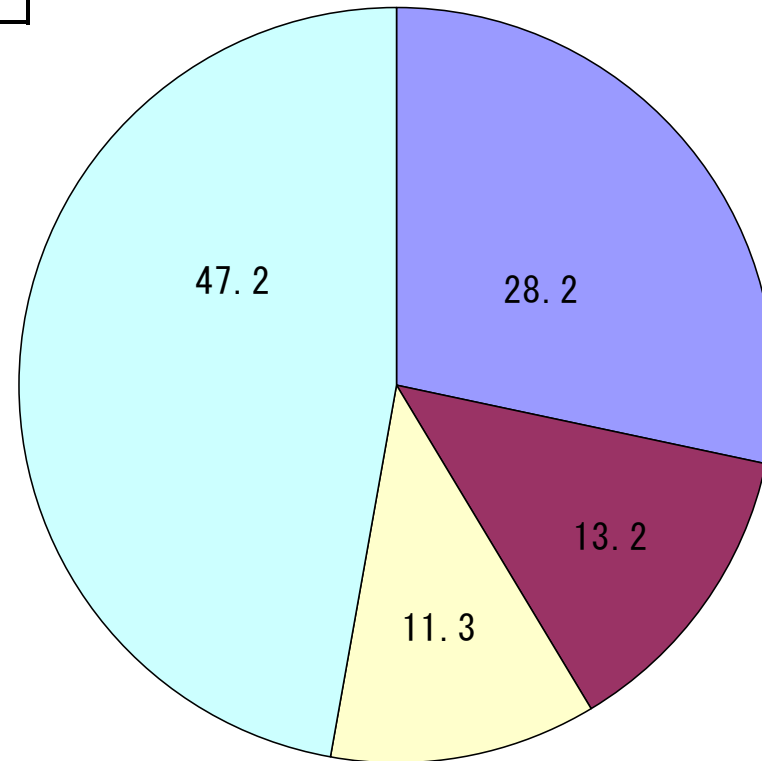
(ウ) 寄附の形で貢献している(%)

(n=2,900)

(%)

貢献している	貢献していない(無回答を含む)
11.1	88.9

(寄附の形で貢献することについて) (n=2,794)



- これまで寄附をしたことはないが、今後は寄附をしたい
- これまでも寄附をしたことがあるが、今後はもっと寄附を増やしたい
- これまで寄附をしたことがあるが、今後は寄附を減らしたい
- 寄附したくない